

さらに「安心」「信頼」して いただくために

vol.1 「企業理念」「安全憲章」の 制定

当社では、福知山線列車事故を機に、安全を最優先する企業風土を構築するため、全社員が共有する価値観であり、行動指針である「経営理念」について見直すこととしました。

見直しにあたっては、社員間で議論を重ね、社外の様々な分野の有識者の方々からも意見をうかがい、それらをもとに、「安全」、「存在意義」、「お客様」、「技術・技能」、「社員」、「社会的責任」の六項目から成る「企業理念」を制定しました。

また、「安全憲章」についても、事故を決して忘れることなく、最大の使命である安全の確保に向けて、社員一人ひとりが具体的行動を起こせるよう、あわせて制定しました。

見直しにあたっては、「お客様の安全の確保」、「異常時における意識と具体的行動」、「福知山線列車事故の風化防止」の三点にこだわって検討を重ねました。

当社では、「企業理念」と「安全憲章」のもと、全社員が心を一つにし、新たなJR西日本を築き上げてまいります。



企業理念

1. 私たちは、お客様のかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全第一を積み重ね、お客様から安心、信頼していただける鉄道を築き上げます。
2. 私たちは、鉄道事業を核に、お客様の暮らしをサポートし、将来にわたり持続的な発展を図ることにより、お客様、株主、社員とその家族の期待に応えます。
3. 私たちは、お客様との出会いを大切に、お客様の視点で考え、お客様に満足いただける快適なサービスを提供します。
4. 私たちは、グループ会社とともに、日々の研鑽により技術・技能を高め、常に品質の向上を図ります。
5. 私たちは、相互に理解を深めるとともに、一人ひとりを尊重し、働きがいと誇りの持てる企業づくりを進めます。
6. 私たちは、法令の精神に則り、誠実かつ公正に行動するとともに、企業倫理の向上に努めることにより、地域、社会から信頼される企業となることを目指します。

安全憲章

私たちは、2005年4月25日に発生させた列車事故を決して忘れず、お客様のかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全の確保こそ最大の使命であるとの決意のもと、安全憲章を定めます。

1. 安全の確保は、規程の理解と遵守、執務の厳正および技術・技能の向上にはじまり、不断の努力によって築きあげられる。
2. 安全の確保に最も大切な行動は、基本動作の実行、確認の励行および連絡の徹底である。
3. 安全の確保のためには、組織や職責をこえて一致協力しなければならない。
4. 判断に迷ったときは、最も安全と認められる行動をとらなければならない。
5. 事故が発生した場合には、併発事故の阻止とお客様の救護がすべてに優先する。